

北海道大学 低温科学研究所

将来、低温研で
学びたい方も大歓迎!!

一般公開

令和8年6月6日 土
10:00~16:00

参加
無料

低温の不思議な世界を探検しよう!

極地(-50℃の世界)を体験しよう

超低温保存室(分析棟 1階 178号室)

南極やグリーンランドの内陸は冬になると平均気温が-50℃を下回ります。極地で採取した雪氷試料を保管している低温施設を見学して-50℃を体験してみませんか。



- ・時間は、10:10、10:50、11:30、13:10、13:50、14:30からの6回
- ・所要時間は15分 各回先着 8名(玄関受付で整理券を配付します)
- ※小学生以下および体調が悪い方等はご遠慮いただきます

冬に葉を残す?葉を落とす?

講堂(新棟3階)

冬でも葉をつけている常緑針葉樹イチイ、葉を落とす落葉針葉樹カラマツの葉の緑色を簡易的な器具を使って測定し、冬でも葉を維持する意義とそのために必要なメカニズムを説明します。また、クロロフィルやカロテノイドといった葉に含まれている色素について説明し、それらの色素を含んだ溶液を使って塗り絵をします。



- ・開催時間は 10:00~12:00、13:00~15:30

氷や雪の秘密

交流ラウンジ(新棟3階)

本当は水が凍り始めるのは0℃ではない!?



ペットボトルの中に雪を再現できるのかな!? 簡単な実験で、雪や氷の秘密を実感してみませんか。

雪の結晶は生きている?

講堂(新棟3階)

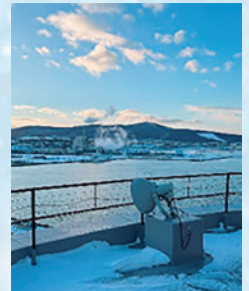
雪の結晶が大変美しい樹枝状に成長する様子を疑似体験していただけます。シャボン膜の中で氷結晶が美しい樹枝状に成長してゆく様子を観察してみましょう。また、国際宇宙ステーションを利用して行ってきた微小重力実験の様子や装置等をご覧ください。



寒冷地のPM2.5~その正体を探る~

講堂前ホール(新棟3階)

PM2.5は都市だけでなく寒冷地の森や海などからも発生し、ありとあらゆる場所で私たちの身近な生活に影響を与えます。その正体や寒冷地での役割など、最新の研究も交え易しく説明します。



南極・北極・世界の氷河・氷床を学ぼう

講堂(新棟3階)

低温研では、南極、北極、パタゴニアなど世界の氷河氷床で、現地調査、人工衛星データの解析、氷コアの分析、数値シミュレーションなどを実施しています。また、次世代の極地研究者を育成するために「北極・南極学カリキュラム」を展開しています。南極・北極・世界の氷河・氷床を学んでみませんか?



流水とオホーツク海の不思議

講堂(新棟3階)

冬になると流水に覆われるオホーツク海。そんな流水の海はどのような場所なのか?環オホーツク圏で行なわれている調査や研究から分かりやすく紹介します。



北海道大学 低温科学研究所

札幌市北区北19条西8丁目
URL <https://www2.lowtem.hokudai.ac.jp/>



150th
HOKKAIDO UNIVERSITY

2026年、北海道大学は創基150周年を迎えます。



地下鉄南北線 北18条駅より徒歩約10分